

# 『美しい地球を次の世代へ』

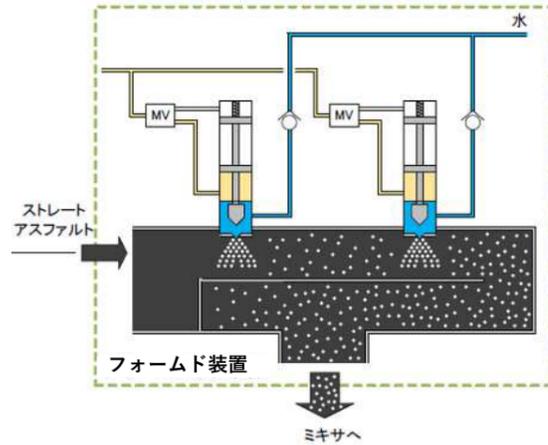
## フォームドアスファルトによる（中温化）アスファルト混合物

### 省エネやCO<sub>2</sub>排出量削減、作業環境の改善

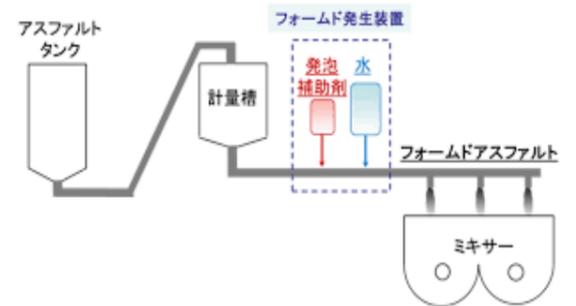
フォームド装置



フォームドアスファルト発生装置（拡大図）



フォームド装置配置図



### 《フォームドアスファルトの概要》

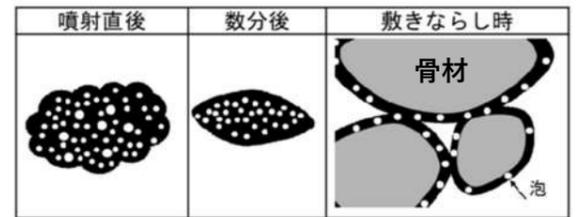
- ・ **フォームドアスファルト** は、フォームド発生装置により高温のアスファルトに微量の水を噴霧し、水が蒸気となり発砲することで生成される。
- ・ 発砲されたキメ細かな泡の働きによってアスファルト容積が増加し、見掛けの粘度が低下することで、混合物製造時の混合性が向上し、製造温度・施工温度を **20~30°C 下げても品質を確保** できます。また、泡のベアリング効果により、施工時には締固め性を向上させることができます。



アスファルトの発砲状況

### 《中温化合材技術の期待される効果》

- ・ 加熱アスファルト混合物の出荷温度を **20~30°C 低減**
- ・ 作業者の労働環境改善（夏場の舗装施工環境が改善）
- ・ 舗装施工時における早期交通規制開放により、交通渋滞緩和の期待
- ・ 遠隔地の合材運搬での品質・施工性の確保など



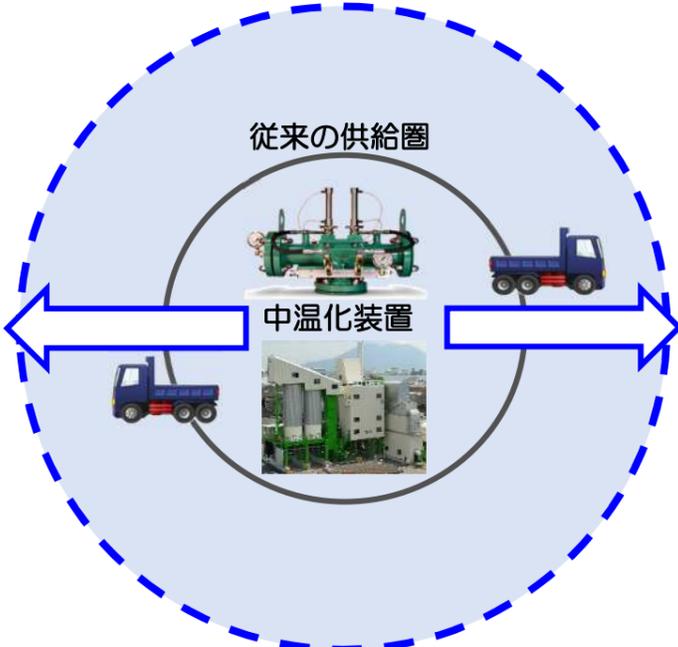
フォームドアスファルトの概要

合材製造時、出荷温度30°C下げると

約10~15%の燃料削減

約2.3~2.7kg-CO<sub>2</sub>/tの削減

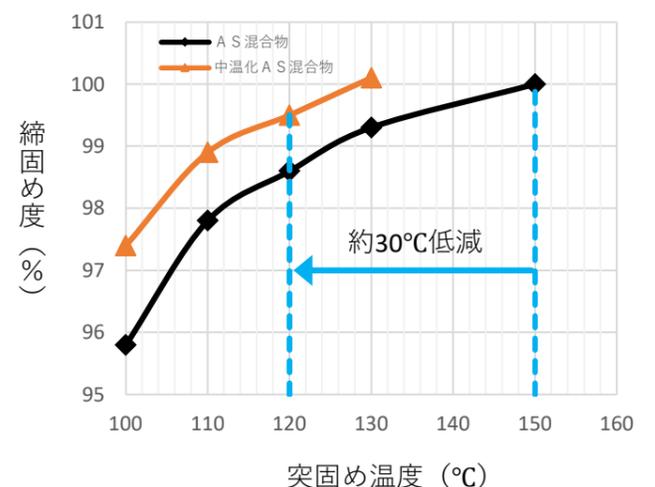
拡張される供給圏



合材供給エリアの拡大  
(約+1時間)

合材貯蔵時間の拡大

突固め温度と締固め度の関係



鹿児島基盤材センター(株)  
米盛アスコン部